

《論理学研究<1>》

图书基本信息

《論理学研究<1>》

内容概要

《論理学研究<1>》

作者简介

フッサール,エドムント

1859 1938。当時のオーストリア領に生れる。1876年以降ライプチヒ、ベルリン、ウィーンの各大学に学び、1883年学位を得る。1884年ウィーン大学のブレンターノの門下に入り、専攻していた数学から哲学への道を歩む。1906年ゲッチンゲン大学教授となり1916年まで在職。その後1928年までフライブルク大学教授

立松/弘孝

1931年名古屋に生れる。1953年南山大学文学部独文学科卒業。東京大学大学院修士課程を経て、1955 58年ボン大学で哲学専攻。現在、南山大学名誉教授(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

書籍目録

序言

第一卷 純粹論理学序説

序論

第一章 規範学としての、特に実用学としての論理学

第二章 規範学の土台としての理論学

第三章 心理学主義、その論証と通常の反対論に対するその立場

第四章 心理学主義の経験論的帰結

第五章 論理学的諸原則の心理学的解釈

第六章 心理学主義的に解明された三段論法。推論式と化学式

第七章 懐疑論的相対主義としての心理学主義

第八章 心理学主義的先入見

第九章 思惟経済の原理と論理学

第十章 批判的諸考察の結論

第十一章 純粹論理学の理念

訳注

訳者あとがき

索引

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:www.tushu000.com